

私が見てきた“被災地”福島Ⅳ

～原発事故の現実に向き合うために～

アネックスパル法円坂 市民ギャラリーで2月28日から

2011年3月11日に発生した東日本大震災はマグニチュード9.0という日本では、観測史上最大の地震でした。「一般財団法人 大阪市教員会館」は発生後すぐに教育復興支援ということで、サクラクレパスのご協力により、文房具を岩手教育会館に運び、被災した子どもたちに届けていただきました。それ以降、復興支援ということで、3月11日を忘れないために、バザーや震災写真展を開催してきました。



解体後にスイセンの花 (2021年4月撮影 浪江町)



通行止めのフェンス (2021年8月撮影 富岡町)

今年も、昨年に引きつづき、大阪市の中学校の教員で、被災地福島の支援に取り組んでいるボランティアグループ「あいむひあ大阪」でも活動されている、木村英生さんの写真展を開催します。木村さんは主に、福島県の南相馬市を中心に、福島第1原子力発電所によって被災した地域での支援活動の中で、被災地の姿を伝えるため、事故後も写真をずっと撮り続けられています。

木村さんは、「事故後の福島の現状をよく見て考えるなかで、被災者の姿がまったく伝えられていないし、決して福島の人だけの問題ではない。同じような事故がこの大阪・関西で起きてもおかしくないことで、自分たちの問題でもある。2度と同じ過ちを繰り返さないために、何が起きたのかを知り現実をしっかり向き合い、自分たちの問題としてみんなで考えたい」という強い思いを持っておられます。

カーボンニュートラルの実現が提案されている中で、原子力発電の復権がすすめられようとしています。ぜひとも多くの市民のみなさんに「事故後10年を越えた被災地」の写真を通して、原発事故の現実を見ていただくとともに、木村さんの思いに触れ、被災地の現状をしっかりとらえ、この写真展を通して、震災・原発事故後の社会を考えるきっかけにいただければと考えています。



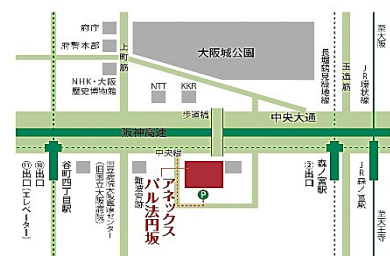
傾いた店(2021年8月撮影 双葉町)

2月28日から3月27日まで、大阪市教育会館1階の市民ギャラリーで開催します。ご来場をお待ちしています。

会場 大阪市教育会館 (アネックス パル法円坂)
1階 市民ギャラリー
大阪市中央区法円坂 1-1-35
TEL 06-6941-0951 (大阪市教員会館)

展示期間 2022年2月28日(月)～3月27日(日)

開設時間 午前9時30分～午後5時 **入場無料**



木村英生震災写真展記念講演

「原発事故の被害は風評被害ではない～原発事故の真実に向き合うために～」

木村英生震災写真展の記念講演会として、**3月13日(日)午後2時から大阪市教育会館3階5号室**にて今回の写真の解説を中心とした木村さんの講演会「原発事故の被害は風評被害ではない～被災の真実に向き合うために～」を予定しています。講演会にも多数の参加をお願いします。参加費は無料です。

事業に関するお問い合わせは教員会館へ TEL 06-6941-0951 FAX 06-6941-7474

■ 郵送 〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-35(アネックスパル法円坂内) ■ E-mail kaikan@zaidan.or.jp
■ URL /http://www.zaidan.or.jp/ ■ お申し込みはFAX・E-mail・郵送にて